

# 福岡県の代表的な祭り

## 鬼夜 (久留米市)

■ 時期 : 1月7日



「鬼夜」は、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されている祭りです。大晦日の夜から正月7日までの「鬼会(おにえ)」の最終日に行われ、行事を飾る大松明廻しは、直径約1m、全長13m、重さ1.2トンの6本の大松明が締め込み姿の人たちによって支えられ、火の粉を散らしながら本殿の周りを勇壮に廻ります。

## 川渡り神幸祭 (田川市)

■ 時期 : 5月第3土曜日とその翌日の日曜日



風治八幡宮 川渡り神幸祭は、県の無形民俗文化財第1号に指定されており、450年以上続く筑豊地区を代表する祭りです。運行する神輿では日本最大級の大神輿を先頭に、幟山笠が彦山川を渡り、若衆が水を掛け合います。この勇壮で、絢爛豪華な川渡り神幸祭が終わると、筑豊はもう夏。この祭りを合図とするかのように、田植えが始まります。

## 博多祇園山笠 (福岡市博多区)

■ 時期 : 7月1日~15日



770年以上の伝統があり、国の重要無形民俗文化財に指定されている博多を代表する勇壮な夏祭りで、平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。福岡の博多部を中心に行われ、期間中は町の各所に「飾り山」が飾られます。クライマックスは15日早朝の追い山で、重さ1トンの「昇き山」を担いだ揃いの法被に締め込み姿の男たちが博多の町を駆け抜けます。「オイサッ、オイサッ」の勇壮な掛け声が響き、博多の町に夏本番を告げます。

## 小倉祇園太鼓 (北九州市小倉北区)

■ 時期 : 7月第3土曜日を挟む3日間(太鼓共演大会は、第3土曜日)



映画「無法松の一生」でも知られ、400年の歴史を持つ勇壮・優美な太鼓祇園で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。まさにその名のとおり勇壮な太鼓の音が主体の賑やかな祭りで、両面打ちの太鼓の響きは腹の底にこたえる感覚を人々に与えます。賑やかなチャンガラ(摺り鉦)と全国的にも珍しい両面打ちによる太鼓の音が、夏の小倉を祭り一色に染めます。

## おおむた大蛇山まつり (大牟田市)

■ 時期 : 7月第4土曜日とその翌日の日曜日



毎年、7月下旬に開催される筑後地方を代表する夏祭り。各地区から繰り出された長さ10m以上もある大蛇山が火煙を吹きながら町を練り歩く姿は圧巻です。祇園六山巡行、港まつり、一万人の総踊り、花火大会など期間中は約40万人の人出で賑わいます。

## 戸畑祇園大山笠 (北九州市戸畑区)

■ 時期 : 7月第4土曜日を挟む3日間



国の重要無形民俗文化財に指定され、昼は幟山笠、夜は提灯山笠が楽しめる祭りで、平成28年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。昼は4基の大山笠が古式ゆかしい幟旗12本を立てて町を練り歩き、夜は1基につき309個の提灯を12段に重ね、高さ10メートル、重さ2.5トンの提灯大山笠に姿を替えます。8基の山笠が一堂にそろった大山笠競演会は、見る人の心を魅了します。

